



母親が友人とこっそり付き合い
始めてから気づいた俺の感情



あゝ おかえり〜



ただいまー



うわ う……うん
食べたよ

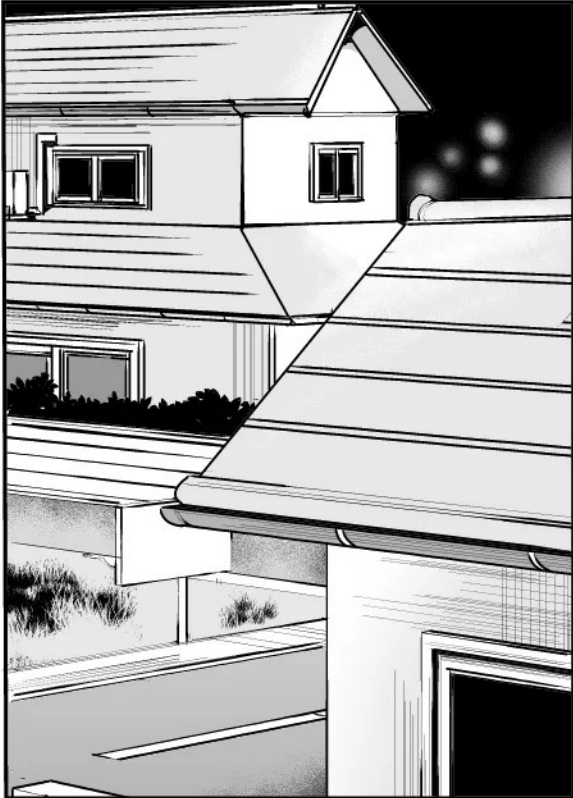
もう御飯食べちゃった？



ノックぐらい
しろっつーの

あつそ
帰り遅くなっちゃって
ごめんねー



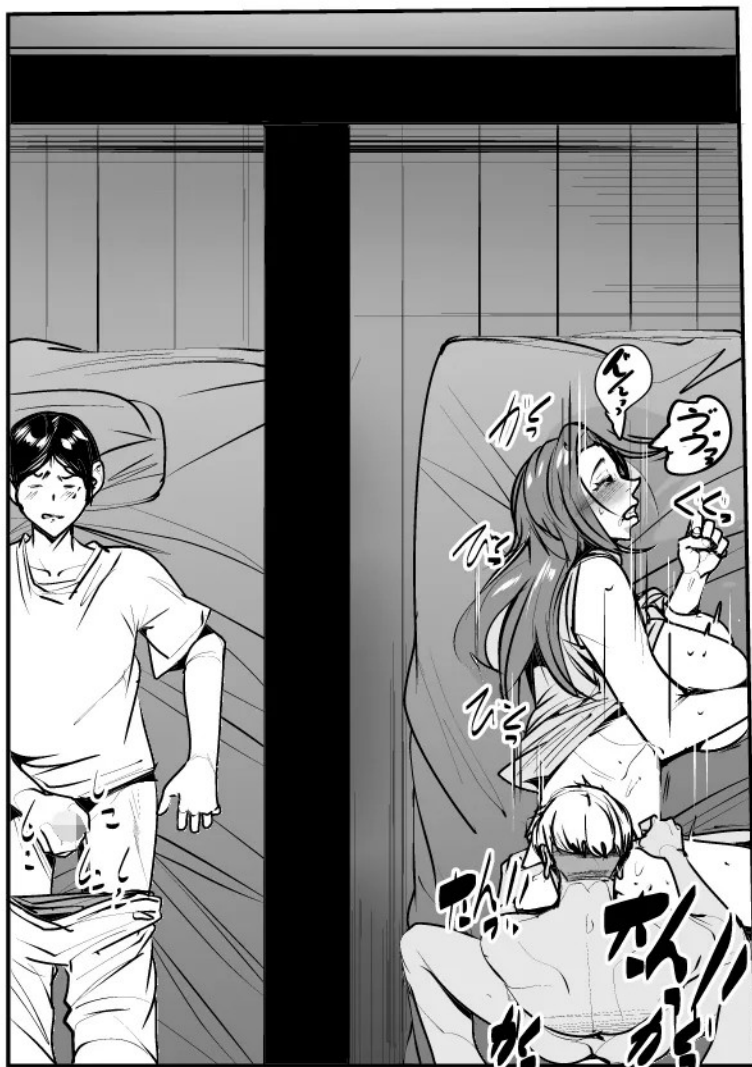


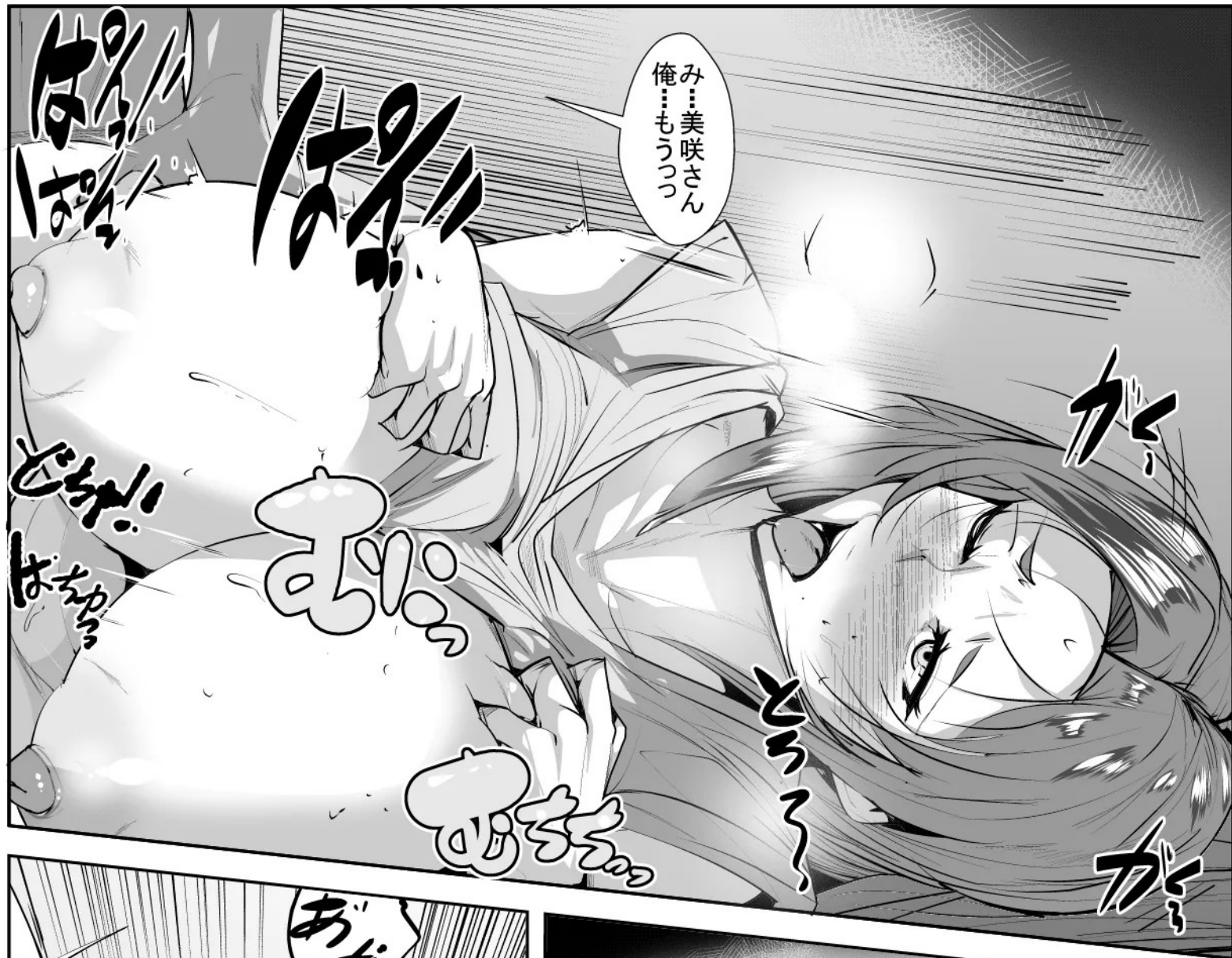


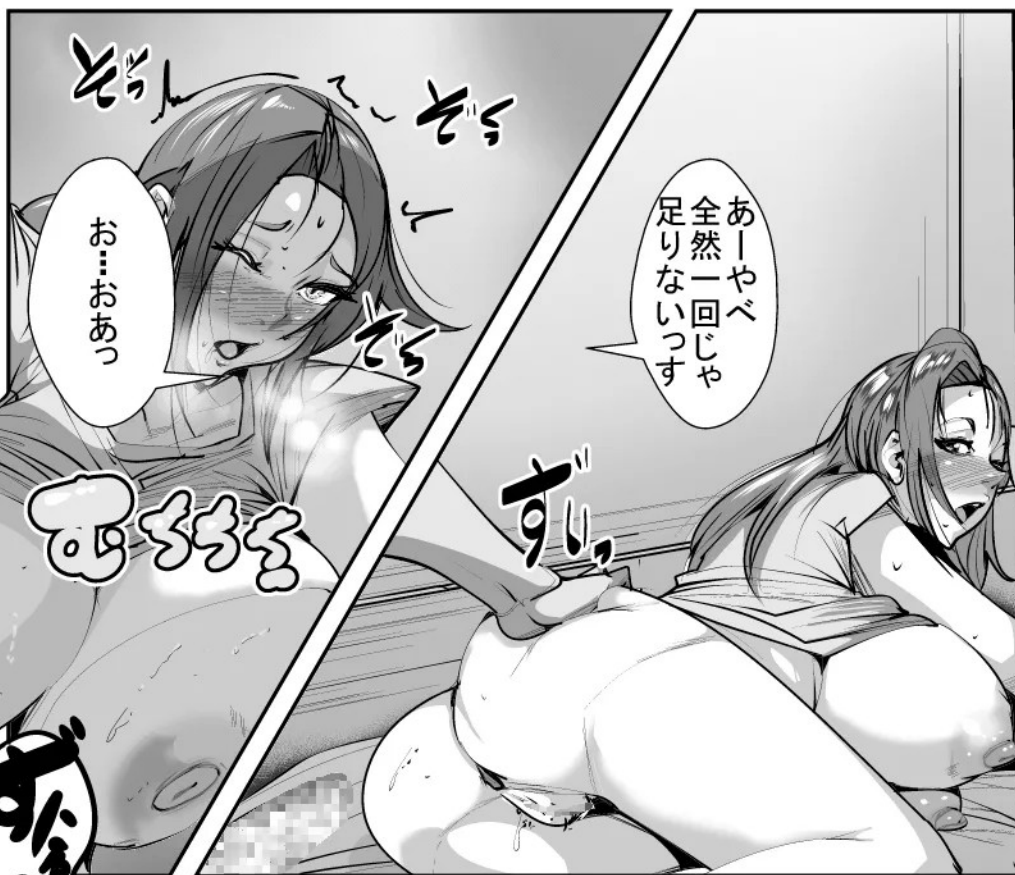




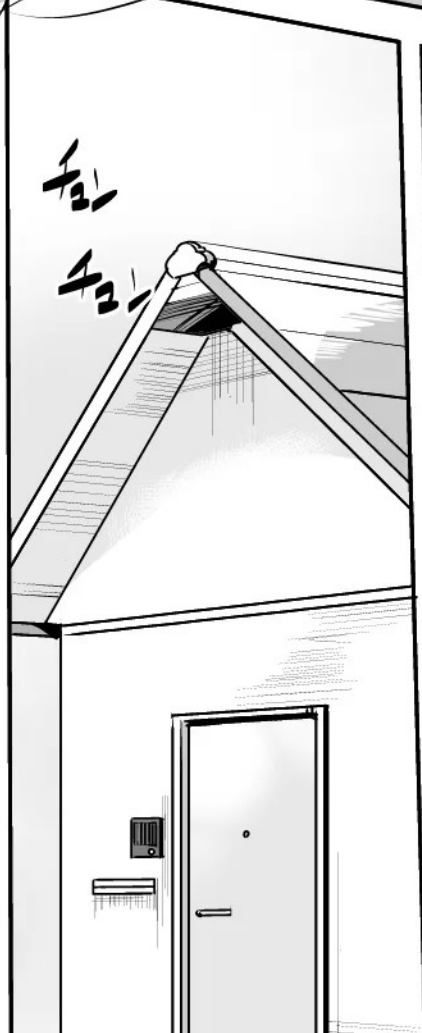


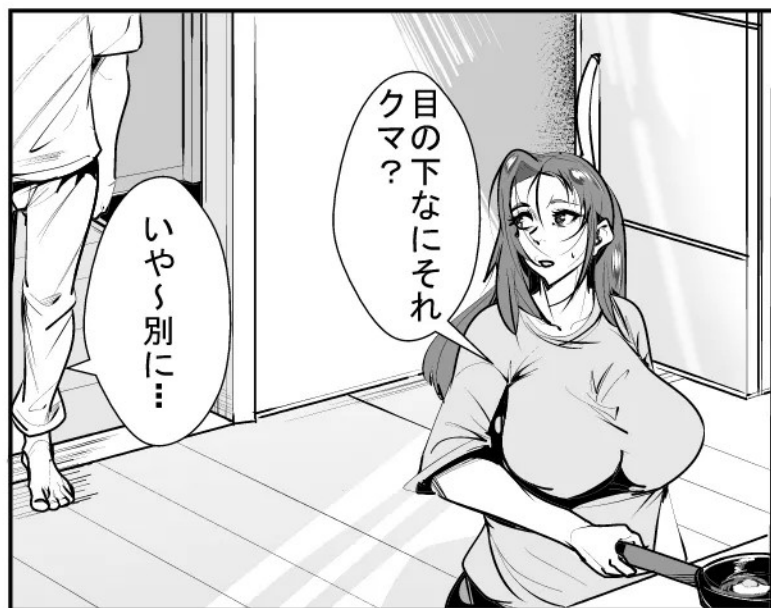


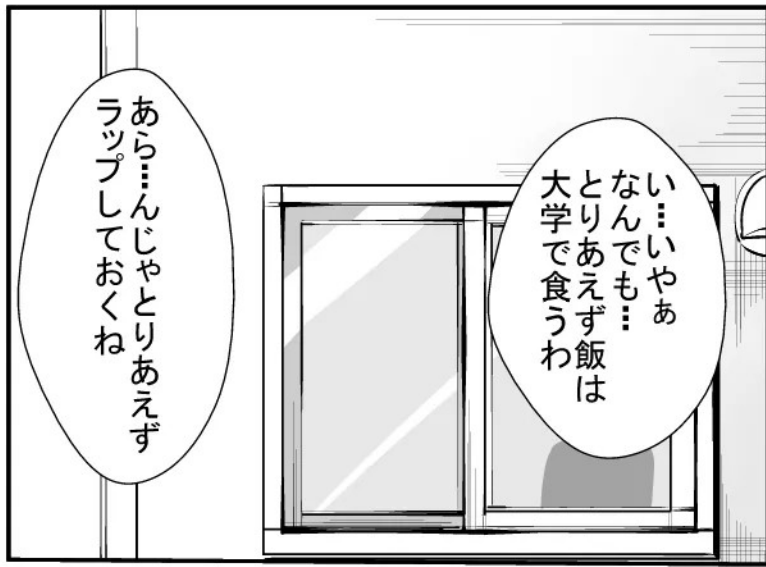




くっさ...くっさ



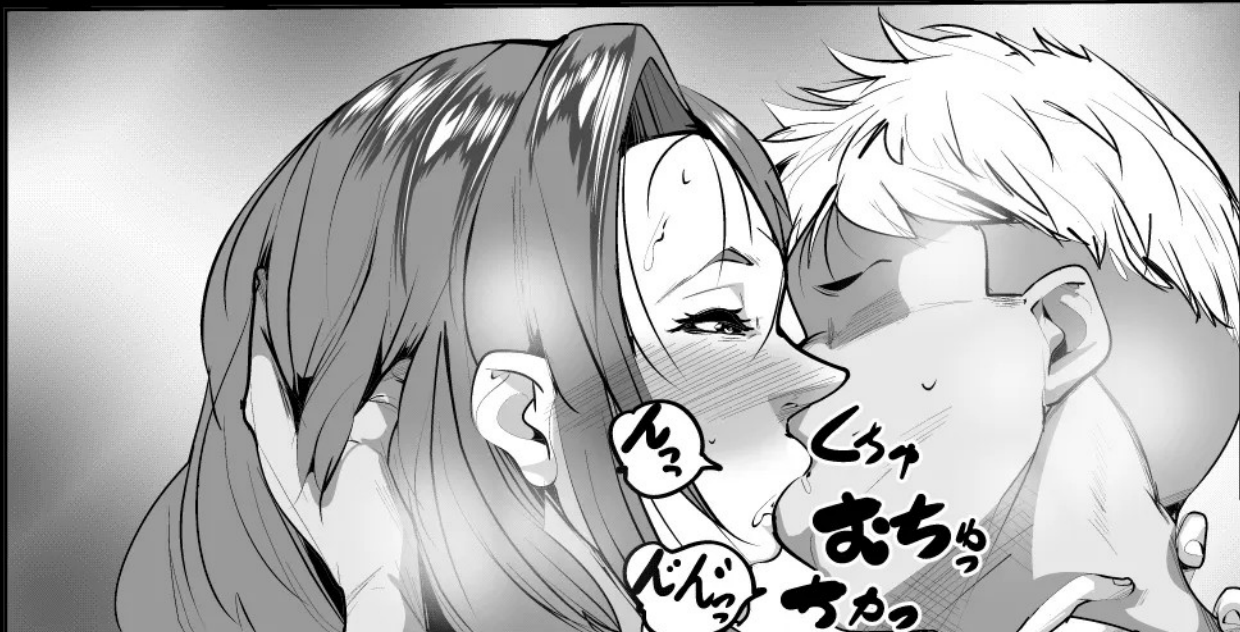








そして何時頃からかは
分からないが…



2人はいつの間にか
男女の仲になっていて…



ある日を境に
自宅でまぐわる
ようになり



時折聞こえてくる
母の獣じみたり
嬌声が耳に入り
それを見えたい
何とも言えない
興奮を覚える
ようになった

そういった妙な感情を
母に抱きつつ
発散する場所もなく

悶々としながら
オナつてなんとか
やり過ごす日々を
続けているが

最近どうにも
我慢が出来ない事が
ある…

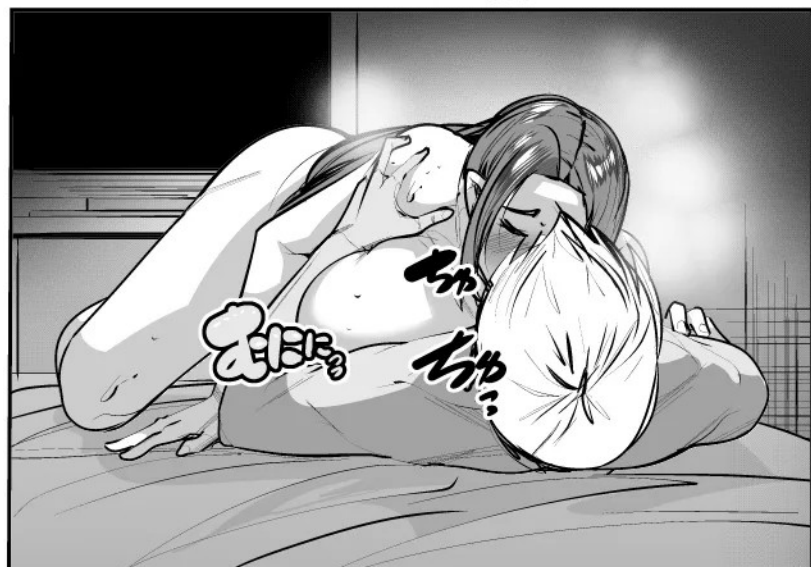
それは行為中の母の姿を
一度も見れてない事だ

見ながらシたら
どんだけ…

と頭をよぎらない日が
最近はない

そんな言い始めたら
最後には
自分で母を
抱きたいに
行きつく

そういうあり得ない
状態に行きつく前に
自分で自制しないと





見たら...

見たら駄目だー
引き返せー



アイム
ヤバ
ヤバ



か...母さん...

ふんふん

んんん

おは

おは

おは

おは

はちゅ!

はちゅ!!





か…母さん…



完全に…雌の顔に…



母の情事を覗き見るなんて…俺は…



わ…私だって…
うりや…うりや…
腰動かして…

いじめて…やるうっ

お…お…お…

だっ？

お…お…お…

どっどっどっ

それでも…
母さんの

こんな姿が
見えるなんて…



こ…興奮が
止められん…っ

くは…あ
ああ…っ

ま
ち
ち





そんなに
しがみついちやって...
よっぽど気持ちいいんすね

あんっ

う...うん
良太くん...ち○ぽ...
気持ち...いいよおっ

そ...そんなの...
うあ...あっ

俺と健太
どちらが好き
っすか

はちゃ! はちゃ!
はちゃ!



ち...ち○ぽは
良太くんのが...
す...すき

あ...あ...あ...

す...す...す...



健太は 自分の子だから
大事に...決まってるけどお...

あ...あ...あ...



う...うん
良太くんの専用の
おま○こになる...う...

ん...ん...ん...

あ...あ...あ...

これからも
俺のために
おま○こに
開いてくださいよ



へへへ
それじゃ
美咲さんは
俺の女つて
ことで

は...は...は...

あ...あ...あ...

は...は...は...



